

授業概要

本科目では、高齢者の心理について生涯発達の視点から、さまざまな領域に焦点をあてながら、講義する。高齢者に限らず私たちが生きている日本はどのような状況に置かれているのか、老年期の至る中高年期はどのような時期なのか、加齢に伴い身体機能や知的機能はどのように変化し、その変化にどのように対応していったらいいのか。そもそも高齢者の心理はどのようなものなのか、認知症の高齢者の心理はどのようなものなのか、等々について、事例を交えながら、講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション・現代日本の社会状況と課題 1ー少子高齢化がもたらすものー
第 2 回	現代日本の社会状況と課題 2ー家族構造の変化がもたらすものー
第 3 回	現代日本の社会状況と課題 3ー対応：マクロとミクロの視点からー
第 4 回	中高年期の理解における生涯発達の視点 1ー発達課題の変化にみる中高年期ー
第 5 回	中高年期の理解における生涯発達の視点 2ー老いと適応 1ー
第 6 回	中高年期の理解における生涯発達の視点 3ー個と関係性ー
第 7 回	老いるということ 1ー老いのイメージ：エイジズムー
第 8 回	老いるということ 2ー老いの実際ー
第 9 回	老いるということ 3ー日常生活への影響ー
第 10 回	老いるということ 4ー老いと適応 2ー
第 11 回	高齢者に対する理解と支援 1ー心理的理解ということー
第 12 回	高齢者に対する理解と支援 2ー理解；事例に基づき考えてみるー
第 13 回	高齢者に対する理解と支援 3ー対応；事例に基づき考えてみるー
第 14 回	高齢者に対する理解と支援 4ー老いと適応 3ー
第 15 回	高齢者に対する理解と支援 5ー老いと家族ーまとめ
第 16 回	最終課題レポートの実施

到達目標

本科目では、中高年期のみならず、高齢期にある人々を取り巻く諸側面の基礎的な理解を目標とする。

- ① 少子高齢化にある日本の社会的な課題と対応について説明できる。
- ② 加齢とともに生じる変化を心理的、身体的および社会的側面からからとらえ、中高年期・高齢期に特徴的な変化を記述できる。
- ③ 中高年期、高齢期に生じる課題や生活ニーズ、及びその対応についてミクロとマクロの視点から理解できるようになる。
- ④ 老いと適応について理解できるようになる。

履修上の注意

授業中、適宜、リアクションペーパーに自分の考えをまとめてもらう。また、授業の内容に応じて、グループワークを行うので積極的に参加すること。

予習・復習

講義で扱った内容をさらに深めるため、授業内での資料を読み込み、さらに知りたい内容について自分で調べること。

評価方法

リアクションペーパーの内容（20%）、授業中の態度（20%）、最終課題レポート（60%）の結果を合わせて、総合的に評価する。

テキスト

特に指定しない。
随時資料を配布し、参考文献はその都度紹介する。